～宮大生のための海外渡航～

オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

農学部　海洋生物学環境学科　2年　（黒木　結生）

〇派遣：ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

〇派遣期間：　2014 年 2 月 18 日　～　2014 年 3 月 25 日

〇渡航時の学年：　２年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

留学希望者向けの説明会に参加して、オタゴ大学ランゲージセンター留学について知りました。それまで海外留学経験がなく、まずは短期の留学に挑戦したうと思っていたので、ちょうどいい機会だと思い参加を決意しました。

・渡航に関する手続について：

国際連携センターで参加希望を伝え、必要な書類を用意しました。授業料やホームステイ先の送金は学校側が行ってくれたので、個人ではパスポートの購入と飛行機便の予約、海外旅行保険への加入を行いました。

・査証取得：

なし

★体験記：

〇生活費：

海外旅行保険（¥8,990）／旅費（往復¥218,695）／授業料・ホームステイ代（NZ$3,258→¥285,803）
生活費は 1NZ$を約 100 円と考えて使っていました。昼食は自分でサンドイッチなどを用意していましたが、買う場合はパンなどが NZ$3～で購入できます（スーパーが安いです）。飲料水は最初に NZ$2 で購入したものに、ホームステイ先や学校の飲料水を入れて使っていました。学校の近くのお店で、フィッシュ&チップスやピザ（NZ$5～）を食べることもありました。アイスやお菓子（NZ$3～）も美味しかったです。

〇ホームステイ先の環境：

一階建てで、地下階のある広い家でした。用意してもらえた部屋もとても広く、机・棚・ベッド（すごく大きい）と必要なものは揃えてありました。インターネット環境も整っており、持っていったノートパソコンやスマートフォンも問題なく使用できました。
家族はホストファザー、マザー、娘２人とペットの猫で、同じ留学生の中国人の男の子も一緒に生活しました。朝食は自分でトーストやシリアルを用意し、夕食はマザーの手作り料理でした。肉や

サラダなどバランスの良い食事で、カレーライスやヌードルも出してくれて、とても美味しかったです。
マザーは主婦で毎日家にいたので、洗濯物をたたんだり、食器を洗ったりしてお手伝いをしました。
ファザーは仕事なので平日はあまり家にいませんでしたが、毎週土曜の夜は一緒に映画を見て、日曜はドライブに連れて行ってくれました。
昔から留学生をとっている家族だったので、ホームステイにも慣れており、とても親切な対応をしてくれました。

〇大学のサポート状況：
初週は一階の受付で尋ねることが多かったです。日本語が分かる女性職員の方もいらっしゃったので、どうしても分からないことがあれば聞くことができました。毎週大学でバスケやフリスビーなどのスポーツ、バーベキュー、パーティーなどが開催されるので、友達を作ろうと思ったら積極的に参加することをおすすめします。
Wi-Fi 環境もあるのですが、学生 ID を取得しなければ使えません（学生 ID は入学後一週間程度で作成できたと思います）。ただしスマートフォンによって使用できたり、できなかったりがあるようです（私の場合、帰国一週間前から Wi-Fi が使用できるようになりました）。

〇授業の様子：
少人数制で、コの字型配置の机で授業を聞くことが多かったです。グループに3・4人ずつに別れることもありました。
担任の先生によって授業内容は異なりますが、英文法やリスニング、TOEIC／IELTS／PET の授業、自習の時間などがありました。
黙って授業を聞くのではなく、的外れでもいいので**自分から発言すること**が大切だと思います。答えでなくても、意見や質問でもいいです。そちらの方が、授業が盛り上がることもあります。

〇他の留学生たちの様子：
中国とサウジアラビアからの留学生が多かった印象です。他にも台湾・韓国・タイなどから来ていました。皆フレンドリーで楽しい人ばかりでした。
スピーキング能力が高いので、こちらから話しかけるのは尻込みしてしまいがちですが、気軽に話しかけてみましょう。単語をつなげるだけでも、身振り手振りや話の流れで、言いたいことは大体伝わります。

〇現地学生との交流：
特にありませんでした。

〇街の様子：
町並みがとてもキレイで、散歩するだけでも楽しいです。Octagon という中心街に向かうストリートをウインドウショッピングするだけでも、放課後の時間が潰れます。学校で周辺マップがもらえるので、慣れてきたらいろんなところに行ってみて下さい。オススメは Albany St の突き当たりの角にある Rob Roy というお店のアイスです。New World や countdown といったスーパーマーケットもあるので、昼食用のパンや果物を買うこともできます。コンビニなどはありませんが、何か必要なものがあれば買い揃えることは可能です（ただし日本より高いので、出来る限り日本で揃えることをおすすめします）。
バスはありますが、本数が少なく日本とシステムが異なるので、慣れるまでは戸惑うかもしれませ

ん。よく教えてもらって下さい。バスカードを使うとチャージでき、料金も安くなるので便利です。強制ではありませんが、持っていないと毎回バスの運転手さんが「バスカードを買ったほうがいいよ」と言ってくるので、買いましょう（ホームステイ先によっては用意されていることもあるらしいですが、私は自分で購入しました）。
夜は危ないので、一人歩きは極力控えるようにして下さい。季節にもよると思いますが、できれば18 時までに帰宅するのがベストだと思います。

○その他：
あちらでは、基本的にシャワーは 10 分程度で済ませます。その他、ホームステイ先の家庭によってルールがある場合もあるので、なるべく従ってください。ですがもし我慢できない場合は、無理せず大学に相談してみて下さい。ホームステイ先の変更を行ってくれます。
分からないことがあれば、自分で考えすぎず、大学の受付でもホストファミリーでもいいので聞いてみて下さい。親切に対応してくれると思います。

○今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ
日本から持っていったもので役に立ったのは、変圧プラグ・電子辞書・日焼け止めなどです。レインコート or レインジャケットは必須です（私は持っていっておらず、ホストファミリーから娘さんのレインジャケットを借りました）。季節にもよりますが、寒暖差が激しいので、調節できる格好でいくことをおすすめします。冬に行く方、きっと思っている以上に寒いです。注意です。
日本からのお土産には、日本の雑誌やお菓子、日本語の書き方ノートを持って行きました。ですが、お土産はあまり深く考えず気持ち程度でいいと思います。強いて言えば、100 均などで便利グッズを持っていくと喜ばれるかもしれません。
昼食をホームステイ先で用意したり（パンなどを使う場合は、ファミリーの方にお願いしましょう）、外食にあまりお金をかけたりしなければ、生活費はかなり安く収まると思います。
英語は**なんとかなります**。一番大切なのは、実際に話すことです。積極的に友達や先生、ホストファミリーと会話してください。せっかくたくさんの国から人が来ているので、日本人同士であまり固まらず、たくさん友達を作ってください。きっととても楽しい思い出ができるはずです。

▲オタゴ大学ランゲージセンター

▲ダニーデン駅

▲クラスメイト